



文献収集手段一覧表 - 学芸大学図書館に資料がないときどうするか

2020.5 東京学芸大学附属図書館

対応方法	図書	雑誌	電子資料	メリット例	デメリット例
他の大学図書館に見に行く	○	○	△ (契約上不可能なものもある)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読むことができる資料が豊富。</li> <li>・交通費のみで行けることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則紹介状が必要。</li> <li>・紹介状作成には通常3日ほどかかる。</li> <li>・地理的に遠いと難しい</li> <li>・原則借りることができない</li> </ul>
他の公共図書館(都道府県、市町村など)に見に行く	○	○	△ (契約上不可能なものもある)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介状が不要なことが多い。</li> <li>・資料を借りることができる場合もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的に遠いと難しい</li> </ul>
<u>他の図書館から取り寄せる</u>	○	△ (論文の複写のみ) ※雑誌一冊全体は不可	△ (契約上不可能なものもある)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠くの図書館の資料も手に入る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金がかかる。</li> <li>・取り寄せに1週間ほど時間がかかる。</li> <li>・図書は図書館の外に持ち出せない資料あり。(持ち出せても期間は短い。原則1週間)</li> </ul>
<u>資料を学芸大学図書館に入れてもらう(学生購入希望図書)</u>	○	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借りられる資料が多い。(参考図書は不可)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊数に制限</li> <li>・資料の内容に制限</li> <li>・価格に制限</li> <li>・少し時間がかかる。(最短1週間くらい)</li> </ul>
自分で本屋に行って、買う	○	○	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に書き込みが可能</li> <li>・ゆっくり読める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト高</li> <li>・古い資料は手に入りにくい。</li> </ul>
ウェブ上の資料をダウンロードする。	×	×	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手に入れるのが簡単</li> <li>・すぐ読める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ絶対数が少ない。</li> <li>・有料のものも多い。</li> </ul>

二重線: マイライブラリから申し込み可能      凡例   ○: 比較的手に入りやすい。△: 手に入ることもある。×: 手に入れることはできない。